

ブロードバンドサービスの普及・拡大 に向けた取組みと課題

2004年8月24日
KDDI株式会社

【目 次】

1 . K D D I のプロードバンドサービスの取組みと今後の展開	・ ・ P 2
2 . プロードバンドサービスの普及・拡大のための課題	・ ・ P 5
3 . プロードバンド基盤整備に向けた今後の取組み（提案）	・ ・ P 9

KDDIの総合的な取組

固定・モバイル両面でブロードバンド化を推進

固定では、FTTHによるトリプルプレイサービスを提供中

Mobile

業界No.1. 第三世代ケータイ

CDMA1X

第三世代ケータイ市場トップシェア

最大2.4Mbps ブロードバンドケータイ

CDMA1X WIN

さらなる大容量化

高速インターネット接続

DION by KDDI

超高速ADSLへの対応
FTTHへの対応

FTTHによる本格的ブロードバンドサービス

KDDI光プラス

光プラスネット

超高速インターネット接続

光プラス電話

NTT回線不要の光電話

光プラスTV

多チャンネル放送・VOD

トリプルプレイを実現

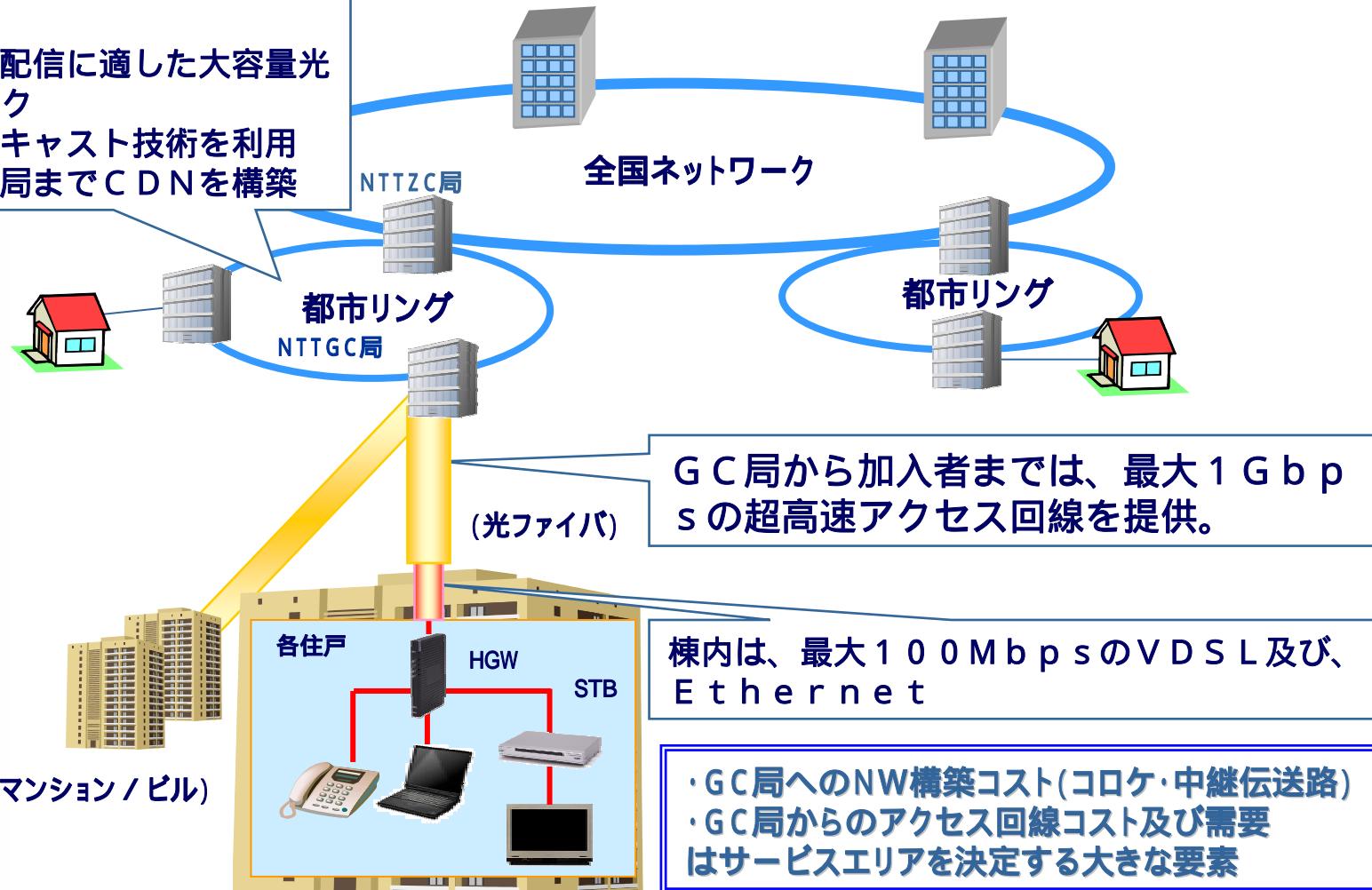
Fixed

光プラスネットワーク概要

大容量高品質のCDNを加入者の最寄GC局まで構築
最寄GC局からのアクセス回線は最大1 Gbps

CDN

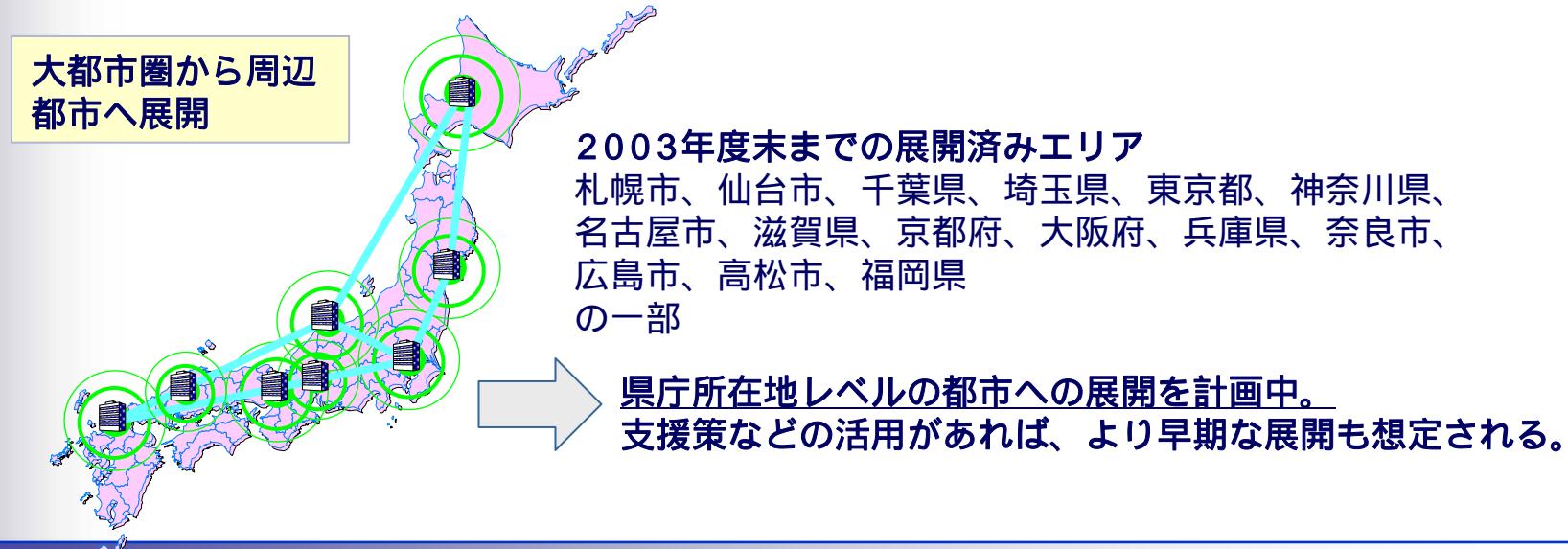
- ・コンテンツ配信に適した大容量光ネットワーク
- ・IPマルチキャスト技術を利用
- ・最寄のGC局までCDNを構築



光プラスエリア展開計画概要

年度	2003	2004	2005 ~
展開エリア	マンション数の多い大都市圏を中心としたエリアへ展開		
主要提供対象	大型マンション	中型マンション	小型マンション アパート・一戸建

10/10 光プラス 提供開始（光プラスネット・光プラス電話）
 12/12 光プラスTV 提供開始



2. ブロードバンドサービスの普及・拡大のための課題

デジタルデバイドへの支援策の考え方

主なデジタルデバイドの内容

- ・超高速インターネット環境の格差
- ・地上デジタル放送視聴環境の格差

光ファイバという一つのインフラ上で複数のサービスが提供されることを意識した支援策が有効。

FTTHの普及支援により、上記両問題の同時解決を期待。

一つのインフラで、ネットのみならず、デジタル放送・多チャンネル放送を提供



高速ネット環境のみならず、デジタル放送・多チャンネル放送等の映像サービスの利用環境を含めたブロードバンド整備支援策が有効。

光ファイバに既存電話などを含めてサービスを提供



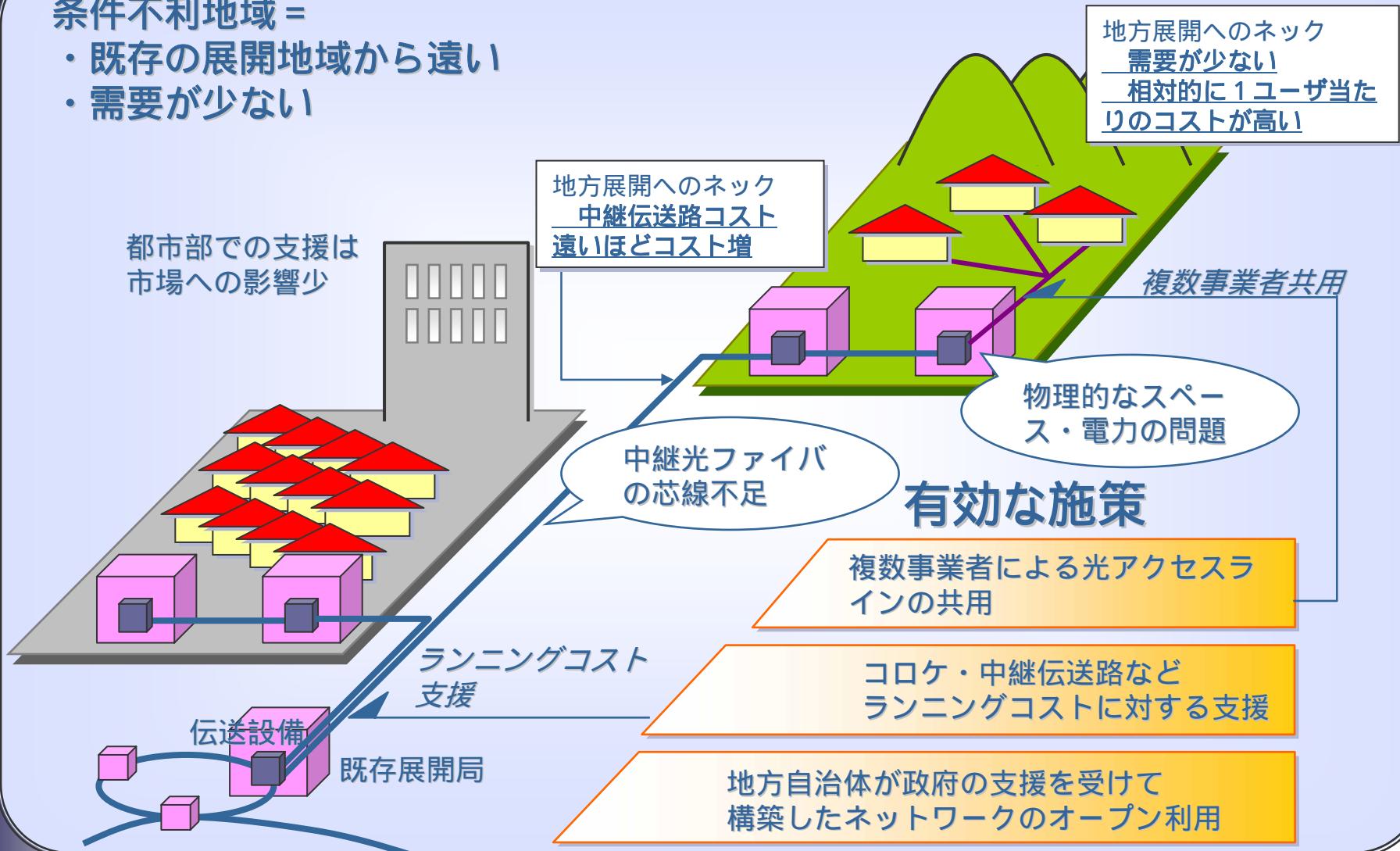
過疎地区におけるブロードバンドの普及を促進するものとして重要。

条件不利地域と有効な施策についての考え方

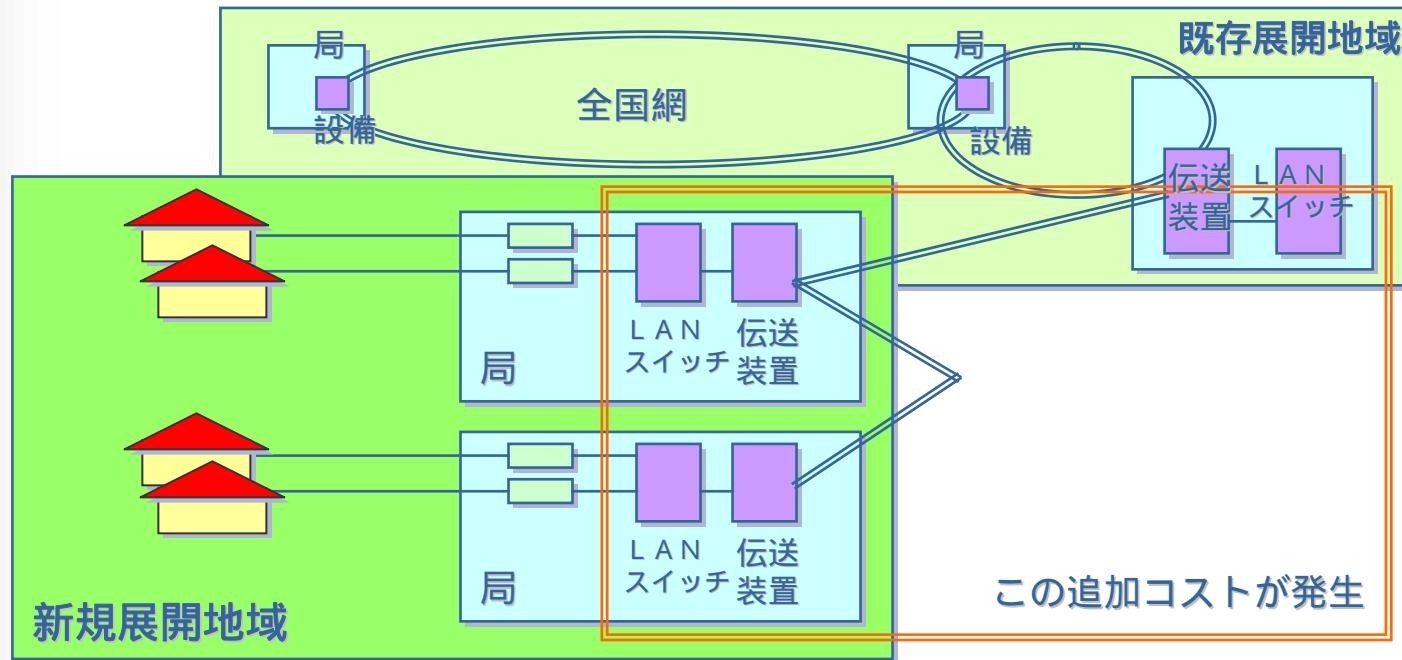
条件不利地域 =

- 既存の展開地域から遠い
- 需要が少ない

都市部での支援は
市場への影響少



新規展開地域の規模による追加コスト差の仮算定



参考：1万都市・2局の場合

新規展開地域の規模(人口)

(想定世帯数)

需要想定 (FTTH普及率30%時)

需要想定 (FTTH普及率10%時)

想定収容局数

局当たり追加コスト(年)

計

コロケ費用

中継ダーク

伝送装置投資(経費化)

スイッチ等投資(経費化)

保守・運営費

ユーザ当たり追加コスト(年)

普及率30%の場合

普及率10%の場合

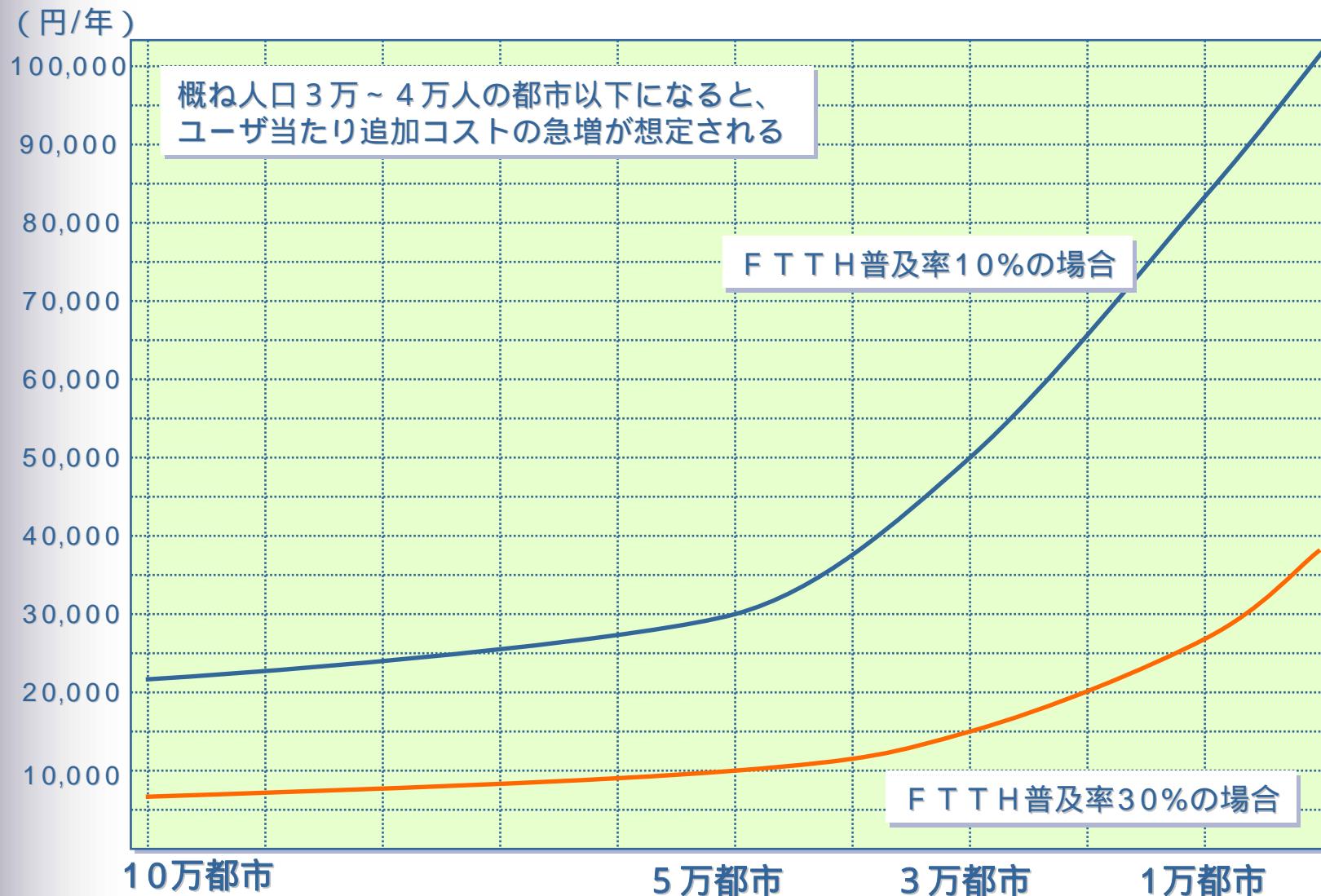
10万	5万	3万	1万	1万
3万	1.5万	1万	3千	3千
3,000	1,500	1,000	300	300
1,000	500	300	100	100
3	2	2	1	2(参考)

2172万		1505万		1505万		838万		1505万	
3局	540万	2局	360万	2局	360万	1局	180万	2局	360万
3回線	435万	2回線	290万	2回線	290万	1回線	145万	2回線	290万
3.5台	350万	2.5台	250万	2.5台	250万	1.5台	150万	2.5台	250万
3.5台	758万	2.5台	542万	2.5台	542万	1.5台	325万	2.5台	542万
	89万		63万		63万		38万		63万

7,240円	10,033円	15,050円	27,933円	50,167円
21,720円	30,100円	50,167円	83,800円	150,500円

*上記は新規エリア展開に伴う追加コストのみを算定したもの

新規展開地域の規模とユーザ当たり追加コスト



3. ブロードバンド基盤整備に向けた今後の取組(提案)

地方への事業者参入を促進させる施策

	サービス充実	複数事業者による共用	ランニングコスト支援	自治体NWの利用促進
サービス提供事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・生活に密着したサービスの充実化 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者間の協議推進 		<ul style="list-style-type: none"> ・地方自治体が構築したNWの積極利用 ・自治体NW構築への協力 (自治体間接続への協力など)
地方自治体	<ul style="list-style-type: none"> ・地方での事業展開のためのユーザ加入促進 		<ul style="list-style-type: none"> ・ランニングコストに対する支援 (コロケーション、中継ダークファイバ等インフラ利用料) 	<ul style="list-style-type: none"> ・地方自治体NW構築 ・構築したインフラの公平な利用ルール整備
政府	<ul style="list-style-type: none"> ・電子政府のなど行政サービスの充実化 ・遠隔医療など公共サービスへの支援 ・地上デジタル放送の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク共用化を促進する施策 		